

様式フ第1号 申立書

年 月 日

石川県労働委員会会長 様

申立人 氏名（名称及び代表者職氏名）

不当労働行為救済申立書

労働組合法第7条第 号違反について、労働委員会規則第32条の規定により、下記のとおり申し立てます。

記

住所（主たる事務所の所在地）  
申立人 氏名（名称及び代表者職氏名）  
電話番号

住所（主たる事務所の所在地）  
被申立人 氏名（名称及び代表者職氏名）  
電話番号

請求する救済の内容

不当労働行為を構成する具体的事実

- 1 当事者
- 2 本件不当労働行為及びその背景（経緯）
- 3 結論（法律上の根拠）

(記載上の注意)

1 申立人

- (1) 個人申立ての場合には、申立人欄には、申立人個人の住所、氏名を記入してください。
- (2) 代理人による申立ては認められないので、申立書には、申立人代表者又は申立人本人の氏名を記載してください。
- (3) 申立人組合が上部団体に加入している場合は、不当労働行為を構成する具体的事実の「1当事者」欄に、この点についても、記載してください。

2 被申立人

被申立人が個人経営者の場合には、被申立人欄にその住所、氏名を記入してください。

3 請求する救済の内容

この欄には、不当労働行為に対する原状回復の措置として使用者に求める事項を具体的に記載してください。

4 不当労働行為を構成する具体的事実

上記3の「請求する救済の内容」の原因となった事実を、行為の日時、内容等を特定して、できるだけ具体的に、かつ、簡潔、明確に記載してください。